

理事会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、一般社団法人日本実験動物技術者協会（以下、「本協会」という。）定款（以下、「定款」という。）第35条及び第59条に基づき、本協会の理事会の運営、理事長の諮問組織である委員会及び評議員会の設置と運営に関し、必要な事項を定める。

(審議事項等)

第2条 理事会は、定款第29条の定める職務以外に次の事項の審議を行う。

- (1) 個人会員・賛助会員の入会
- (2) 名誉会員・顧問の推薦
- (3) 評議員の任命及び解職並びにその他評議員会に関する事項
- (4) 部局員・委員の任命及び解職並びにその他委員会に関する事項
- (5) 日本実験動物技術者協会総会（以下、「全国総会」という。）を開催に関する事項
- (6) 本協会が与える賞及び顕彰に関する事項等
- (7) 関係学協会との連絡
- (8) 事務局の選定と契約
- (9) その他、本協会の運営に必要な事項

(監事の出席)

第3条 理事長は、理事会に少なくとも1名の監事の出席を求めるものとする。

(開催等)

第4条 理事会は、事業年度毎に全国総会に合わせて1回開催し、その他の時期に1回以上開催する。

(資料の送付)

第5条 理事長は、予め議事案件及び必要資料等を各理事に送付できる。

(持ち回り審議)

第6条 理事会の開催に替えて電磁的記録による審議事項の提案があった場合には、理事の電磁的記録による意思表示は、定款32条第2項に規定される書面と同様に取り扱うものとする。

(情報開示)

第7条 理事長は、理事会の開催後に審議事項並びに議決事項等に関する議事録を理事・監事に送付し、定時社員総会で配布する総会議事（案）に掲載する。

(委員会)

第8条 理事長は、定款第37条に基づき、専門的な事項を審議する機関として個人会員を長とした委員会を、理事会の議を経て設置することができる。

- 2 委員会の設置期間は、設置した理事長の在任期間までとし、その継続を妨げない。

- 3 委員長の任期は、担当する委員会を設置した理事長の在任期間までとし、その再任を妨げない。

(委員の任命)

第9条 理事長は、定款第37条第2項で定められた範囲において委員長からの推薦を受けた者を、理事会の議を経て委員に任命する。

- 2 委員の任期は、任命した理事長の在任期間までとし、その再任を妨げない。

(評議員会)

第10条 理事長は、広く個人会員からの意見を聴取するための機関として、本規程第11条に定めた評議員からなる評議員会を設置する。

- 2 理事長は、理事会において審議された事項のうち、必要な事項についての意見を評議員会において評議員から聞くことができる。
- 3 理事、監事及び委員長は、やむを得ない事情がない限り、評議員会に出席するものとする。
- 4 評議員会は、全国総会の開催に合わせて開催する。
- 5 評議員会の議長は、理事あるいは評議員の互選による。

(評議員の任命)

第11条 理事長は、本規程第12条の規定に基づき支部長が選定した個人会員を、理事会の議を経て評議員に任命する。

- 2 評議員の任期は、2事業年度とし、再任を妨げない。
- 3 前項の規定に関わらず、評議員は、理事長が選任される社員総会毎に新たに任命されるものとする。
- 4 評議員は、無報酬とする。

(評議員の員数)

第12条 支部長が選定できる評議員の員数は、支部毎に4名とする。

- 2 前項の規定にかかわらず、支部に所属する個人会員の員数が50名を超える場合には、所属の個人会員の員数を50で除した数(小数点以下は切り捨て)を評議員の員数として、前項で規定した員数に追加するものとする。

(改廃)

第13条 この規程の改廃は、理事会の議決による。

(その他)

第14条 この規定に定めるもののほか、理事会及び委員会、評議員会に関し必要な事項は、理事会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 本規程は平成30年10月7日より施行する。
- 2 令和2年10月24日一部改訂